【富士通川崎合唱団】合唱コンクール関東大会で銀賞受賞！

演奏終了後、静岡市清水文化会館 マリナート ロビーにて

富士通川崎合唱団は、静岡市清水文化会館　マリナートにて 9 月 29 日（日）に開催された「第 68 回 関東合唱コンクール」（主催：全日本合唱連盟関東支部・朝日新聞社）に出場し、銀賞を受賞しました。

当日の演奏内容は下記のとおりです。

［課題曲］O magnum mysterium（偉大な神秘）　作曲：Tomás Luis de Victoria
［自由曲］Prelude（プレリュード）　作曲：Ola Gjeilo
Northern Lights（極北光）　作曲：Ola Gjeilo
［指揮］加藤雅子

清水駅から港は目の前

遠くには富士山

大会の看板

本番会場の大ホール

部門統合により、上位大会への進出は以前にも増して困難となっている当コンクールですが、今回は、つい 3 ヵ月前に富士山の世界文化遺産登録の構成資産に認められた「三保の松原」のお膝元、清水での関東大会です。よりよい演奏をしようと、県大会以降も、約 4 週間真剣に練習を重ねてきました。

当日は清水駅に 11 時半に集合。清水駅に着くと、秋晴れのうえ、目の前に海（清水港）、遠くに富士山が見え、実に清々しい気持ちになりました。

本番前、小ホールでのリハーサル

駅から徒歩にて約 10 分移動し練習会場に着き、主に発声を念入りに、細かい注意点の確認を行い 2 時間程の練習を終え本番会場に向かいます。会場では小ホールにてリハーサルを行い、いよいよ本番です。緊張の中、課題曲を歌い出します・・・。大変響きのよい歌いやすいホールとわかると、自由曲ではのびのびと歌う事ができ、力を出し切ったステージとなりました。

結果は「銀賞」で、残念ながら 8 年連続で上位大会である全国大会への進出はできませんでした。しかしながら、実力派多団体の新部門編成（大学職場一般部門）の中で、どこまで戦えるのか挑戦の大会でもありましたので、その中での銀賞受賞は大変うれしく自信となりました。

銀賞受賞！

受賞を喜ぶ団員

審査員の先生方からは、「さわやかな音色、あたたかい声が印象的」「節や曲により変化する表現が素晴らしい」等進歩を裏付けるような講評をいただきました。これも、指揮者・加藤先生の熱心で我慢強い練習、そしてボイストレーナーの望月先生、名倉先生のご指導、また、忙しい仕事の中、練習に駆けつける団員の努力の賜物と思います。また、この大会によって、いろいろな課題が分かり次に繋がる有意義なステージとなった事は確かです。

当日、三保の松原から望む富士山

駿府城から家康も応援

次のステージは、雰囲気も曲目も一変、10 月 19 日(日) 川崎市立井田小学校で行われる、川崎市井田中学校区教育会議主催「ふれあいコンサート」です。私たちの活動拠点である川崎工場の近隣住民のみなさんへ向けての演奏となります。社員の皆様方も、ご家族やご近所の方々とお誘い合わせのうえ、ぜひとも聞きにおいでください。

今後も富士通川崎合唱団は「ＦＵＪＩＴＳＵ　Ｗａｙ」行動指針である「良き社会人」として歌（音楽）で貢献できるようチャレンジを続けて参ります。

【記事・写真提供：富士通川崎合唱団（アルト）東 恵美子】